

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	新潟工業短期大学
設置者名	学校法人新潟科学技術学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定める 基準 単位数	配置 困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	自動車工業科 自動車技術コース	夜・通信		13	10	23	7	
	自動車工業科 電子制御コース	夜・通信			0	13	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/05.2025kaikoukamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟工業短期大学
設置者名	学校法人新潟科学技術学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園ウェブサイト https://www.niigata-inst-st.ac.jp/publicinfo/basic_information/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社新潟日報社 相談役	2025/6/25～ 2028年に開催する 定時評議員会 の終結の時	法人経営全般
非常勤	新潟市 副市長	2025/6/25～ 2028年に開催する 定時評議員会 の終結の時	法人経営全般
非常勤	新潟ルーチェ法律事務所 弁護士	2025/6/25～ 2028年に開催する 定時評議員会 の終結の時	法人経営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟工業短期大学
設置者名	学校法人新潟科学技術学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・毎年度1月頃に科目担当教員にシラバスの作成を依頼している。 ・シラバスの目的や記載内容について、教務委員会では前年度シラバスや履修状況をもとに、必要な項目の検討や記入例を作成して周知している。 各教員から提出された次年度シラバス案は教務委員会でカリキュラムマップやナンバリング等と照らし合わせながら整合性について確認を行っている。 ・学生への配付(冊子)は4月のオリエンテーション時、他に年度初めに電子データをHPで公表している。	
授業計画書の公表方法	大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/04.2025syllabus.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学では授業科目の出席すべき時間数の10分の8以上(実験、実習及び実技を伴う科目については、10分の9以上)の出席を前提とし、シラバスにおける各科目の学生が到達すべき目標のレベルに達しているかを定期試験やレポートにより厳格に評価の上、単位の授与を認めている。 なお、評価の基準については科目ごとに異なり、シラバスに記載のとおりである。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。			
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)			
本学における学習の評価(百点法)とGPの関係は次の表に掲げるとおりである。			
評定	評定点	GP	単位の認定
秀	90点以上	4.0	合格
優	80点以上、90点未満	3.0	合格
良	70点以上、80点未満	2.0	合格
可	60点以上、70点未満	1.0	合格
不可	60点未満	0	不合格

GPAは、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA(以下「学期GPA」という。)並びに在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA(以下「累積GPA」という。)の二種類とする。

それぞれのGPAの算出方法は以下のとおりとする。

学期GPA＝	$\frac{\text{(当該学期に評価を受けた授業科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数)の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$
累積GPA＝	$\frac{\text{(在学全期間に評価を受けた授業科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数)の合計}}{\text{在学全期間に評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$

上記GPA評価基準に基づいて教務委員会では各科目および学生成績のGPA一覧表を作成し、授業評価を行うと共に、全教職員に結果を周知し、学生に対してもGPA成績が通知される。また、GPAはGPA運用規定に基づいて学生の表彰・懲戒の判断や特定科目の履修条件に用いられる。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/themes/niigata-ct/about/pdf/kitei_rulesofGPA2020.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
本学ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	
本学の建学の精神は「実学一体」です。これには「実用」と「学問」を一体として身につけ地域社会に貢献して欲しいという、建学者の願いが込められています。本学ではこの建学の精神を踏まえ、「自動車工学に関する知識・技術を修得し、学問的情熱と実践力に富み、地域社会に貢献する技術者を育成する」を教育目的として定め、以下の項目を満たす学生に学位を授与します。	
(1) 幅広い教養に基づいた豊かな人間性を有していること。	
(2) 自動車整備士や電子制御技術者として活躍するために必要な知識・技能を有していること。	
(3) 自己の専門性を高める努力を行い、修得した知識・技能を基に様々な問題の解決にあたる能力を有していること。	
(4) 社会人としての倫理観と責任感を備え、地域社会に貢献できる熱意と素養を有していること。	
(5) 他人の意見に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる、コミュニケーション能力を有していること。	
本学では上記ディプロマ・ポリシーを基準とし、入学後のオリエンテーションや各学期の履修指導時等にシラバス・カリキュラムマップと併せて担任の教員がクラス毎に卒業までの履修状況を指導している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学ホームページ <https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/themes/niigata-ct/about/pdf/policy2010.pdf>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	新潟工業短期大学
設置者名	学校法人新潟科学技術学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園ウェブサイト https://www.niigata-inst-st.ac.jp/publicinfo/finance_management/
収支計算書又は損益計算書	学園ウェブサイト https://www.niigata-inst-st.ac.jp/publicinfo/finance_management/
財産目録	学園ウェブサイト https://www.niigata-inst-st.ac.jp/publicinfo/finance_management/
事業報告書	学園ウェブサイト https://www.niigata-inst-st.ac.jp/publicinfo/finance_management/
監事による監査報告(書)	学園ウェブサイト https://www.niigata-inst-st.ac.jp/publicinfo/audit/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/08/自己点検・評価報告書(新潟工業短期大学).pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/08/機関別評価結果_新潟工業短期大学.pdf

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実

施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 新潟工業短期大学自動車工業科
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/about/educational/） （概要） 本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨にのっとり、自動車工学に関する専門の学術を教授し、その応用能力と豊かな教養と人格を涵養し、もって有用な実践力に富む人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/10/ディプロマ・カリキュラム・アドミSSION・ポリシー.pdf） （概要） ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針) 本学の建学の精神は「実学一体」です。これには「実用」と「学問」を一体として身につけ地域社会に貢献して欲しいという、建学者の願いが込められています。本学ではこの建学の精神を踏まえ、「自動車工学に関する知識・技術を修得し、学問的情熱と実践力に富み、地域社会に貢献する技術者を育成する」を教育目的として定め、以下の項目を満たす学生に学位を授与します。 (1) 幅広い教養に基づいた豊かな人間性を有していること。 (2) 自動車整備士として活躍するために必要な知識・技能を有していること。 (3) 自己の専門性を高める努力を行い、修得した知識・技能を基に様々な問題の解決にあたる能力を有していること。 (4) 社会人としての倫理観と責任感を備え、地域社会に貢献できる熱意と素養を有していること。 (5) 他人の意見に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる、コミュニケーション能力を有していること。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/10/ディプロマ・カリキュラム・アドミSSION・ポリシー.pdf） （概要）ディプロマ・ポリシーで述べた教育目的を実現するために、次のことを意図してカリキュラム（教育課程）を編成しています。 (1) 社会人としての基礎を築くことを目指して、「自然科学」や「社会科学」などの教養教育科目を設置しています。これらを通して学習方法の習得を行うとともにコミュニケーション能力を養い、広い視野と豊かな人間性を兼ね備え、積極的に地域社会に貢献する人材の育成を図っています。 (2) 自動車工学や自動車整備技術・先進電子制御装置整備技術の修得には、基礎からの積み上げが大切です。そのため、機械工学や電気電子工学を基礎から学びます。また、演習や実験・実習科目も基礎から応用まで段階的に学習できるようにしています。 (3) 知識を基にした応用力と実践力のある技術者の育成を目指し、実験・実習を重視しています。レポートの作成を通して表現力と考察力を養います。 (4) これらの学修成果として、2級自動車整備士（総合）の資格取得があります。また、希望した職種への就職や進学があります。全員が資格を取得し希望した進路に進めるように学習支援を行い、自己の能力が最大限発揮できるように指導を行います。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/10/ディプロマ・カリキュラム・アドミSSION・ポリシー.pdf）

(概要) 本学は、「実学一体」という建学の精神のもと、自動車工学に関する知識・技術を修得し、学問的情熱と実践力に富み、地域社会に貢献する技術者の育成を目指しています。このため、本学では次のような人に入学して欲しいと考えています。

＜求める学生像＞

- ・大学での学習に必要な基礎学力を有し、自動車に関する知識・技術を積極的に学べる人
- ・自動車整備士の資格取得に意欲的な人
- ・社会人としての知識・教養を身につけ、自動車工学や自動車整備技術・先進電子制御装置整備技術を活かし社会での活躍を目指す人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
<https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/1.2025gyousekiR7.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
自動車工業科	－	4 人	2 人	6 人	0 人	0 人	12 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		12 人					13 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページ https://www.niigata-ct.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/1.2025gyousekiR7.pdf					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
自動車工業科	120 人	103 人	85.8%	240 人	239 人	99.6%	0 人	0 人
合計	120 人	103 人	85.8%	240 人	239 人	99.6%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	
------	--

	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
自動車工業科	48 人 (100%)	9 人 (18.8%)	39 人 (81.2%)	0 人 (0%)
合計	48 人 (100%)	9 人 (18.8%)	39 人 (81.2%)	0 人 (0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
※様式第2号の3(3)の1再掲
・毎年度1月頃に科目担当教員にシラバスの作成を依頼
・シラバスの目的や記載内容について、教務委員会では前年度シラバスや履修状況をもとに、必要な項目の検討や記入例を作成して周知している。
各教員から提出された次年度シラバス案は教務委員会でカリキュラムマップやナンバリング等と照らし合わせながら整合性について確認を行っている。
・学生への配付(冊子)は4月のオリエンテーション時、他に年度初めに電子データをHPで公表

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ※様式第2号の3(3)の4再掲 本学では、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を基準とし、入学後のオリエンテーションや各学期の履修指導時等にシラバス・カリキュラムマップと併せて担任の教員がクラス毎に卒業までの履修状況を指導している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
-	自動車工業科	62 単位	有・無	40 単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法:
https://www.niigata-ct.ac.jp/about/outline/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
	自動車 工業科	880,000 円	210,000 円	300,000 円	その他は施設設備資金

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 【入学前指導】 入学予定者を対象として行う学習サポートです。学習の動機付けなどを目的としています。 【オリエンテーション】 入学者に建学の精神、教育目標、修学や学生生活の注意事項、卒業後の進路について説明を行います。毎年 4 月初旬に実施。 【補習制度】 入学者に対する基礎学力補習制度のほか、進学希望者に対する補習授業や各授業担当者による補習授業などにより、学生の学力向上を支援しています。 【オフィスアワー】 授業内容に関する質問や、大学生活における相談等に応えるための時間を設けています。 【学習相談室】 主に 1 年生を対象として、先輩 2 年生の学生チューターによる学習相談室を開催しています。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 【キャリアデザイン教育】 「キャリアデザイン I」(1 年次前期必修科目) で OB や専門家によるセミナーを開催し、キャリアパスを考える機会とします。 (1 年次後期必修科目)「働くための能力」を高めるトレーニングと就職活動に必要な入社試験対策の演習を行います。 【クラス指導】 ホームルームの時間を設け、クラス担任による履修や学生生活、進路に関する指導や相談を行います。 【進路ガイダンス】 職業選択、ビジネスマナー、就職活動の方法など 1 年次から進路に対する意識の向上を目的として開催しています。 【就職支援データベース】 本学独自の就職情報企業検索システム。進路相談室設置のパソコンで、企業情報や採用試験情報を収集することが可能です。 【就職指導】 進路相談室を設置し、就職試験の面接指導を行っているほか、メーリングリストによる情報提供も行っています。 【企業相談会】 1 年生対象の進路ガイダンスの一環として、学生の出身地域の企業を中心とした本学独自の企業合同相談会を毎年 2 月上旬に実施しています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 【保健・衛生・メンタルヘルス】 春期に全学生に対して定期健康診断を実施し、結果により精密検診や治療指導を行っています。学生が抱える様々な問題や悩みに関しては、クラス担任による対応のほかに、保健室(看護師 1 名を常勤)を設置して対応しています。また、ハラスメント相談窓口を設けて学園全体でハラスメントの問題に取り組んでいます。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.niigata-ct.ac.jp/about/release/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F215310105265
学校名 (〇〇大学 等)	新潟工業短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人新潟科学技術学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		12人（－）人	12人（－）人	12人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅱ区分	－	－	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅲ区分	－	－	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	－	－	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				12人（－）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	3人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。